

2023 年度

関西学院大学 ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室

Volunteer Activity Office "Human Service" Support Office



2023年度 関西学院大学ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室 活動報告書

関西学院大学 ヒューマン・サービス支援室

2023 年度

関西学院大学ボランティア活動支援センター

ヒューマン・サービス支援室 活動報告書

関西学院大学 ヒューマン・サービス支援室

■ はじめに

ボランティア活動支援センター長 挨拶	2
今津屋 直子	
ヒューマン・サービス支援室長 挨拶	3
関 嘉寛	
ボランティアコーディネーター 挨拶	4
岡 秀和、小林 真綾、沖本 祐基	
2023 年度学生コーディネーター代表 挨拶	6
西宮上ヶ原・西宮聖和キャンパス 花谷 実咲、佐藤 日和	
神戸三田キャンパス 菊池 美輝、丸谷 友香、小鹿 陽生	

■ ヒューマン・サービス支援室

1. ヒューマン・サービス支援室とは	8
学内における位置づけ	
組織図	
中間目標の策定	
2023 年度の取り組み	
2024 年度の計画	
2. ボランティアコーディネート	12
支援室の利用状況	
外部団体からの情報提供数	
3. 情報発信	14
ホームページ、SNS、チラシ	
4. 災害支援・防災啓発	15
トルコ・シリア地震募金活動（入学式）／報告会	
災害ボランティア養成講座	
災害食体験／仁川百合野町地すべり資料館ツアー	
#被災者の思い出を守ろう！写真洗浄会／能登半島地震募金活動	
5. 地域連携	13
三田地域連携（さんちきれん）	
神戸市地域協働局との意見交換会	
6. 関西学院大学ボランティアネットワーク（KG-VNET）	19
三田 KG-VNET 交流会	
新入生の心をつかむ！新メンバー募集ってどうするの？	

■ 学生コーディネーター

1. 学生コーディネーター（学生 CO）とは	22
概要	
学生 CO 年間目標	
2. 学生コーディネーターの活動	23
所属人数	
年間活動スケジュール	
春ボラ	
KG LIFE 『はじめようボランティア & SDGs! 合同説明会 なんでも相談コーナー』	
START UP KSC! 『はじめようボランティア & SDGs! 合同説明会 なんでも相談コーナー』	
ボランティア EXPO	
ボランティア見学ツアー	
出張ボラセン	
関西学院大学 × 関西大学 クリーン大作戦	
ボランティア week	
学生 CO 総会	
オンライン・クリーンチャレンジ スポーツゴミ拾い ～関学 × 関大 × 龍大～	
3. 研修	30
基礎研修	
応用研修	
合宿型研修	
4. 来年度に向けて	32
2024 年度学生コーディネーター代表 挨拶	
西宮上ヶ原・西宮聖和キャンパス 佐藤 日和	
神戸三田キャンパス 小鹿 陽生、潮見 凜	

■ 記録事項

ボランティア活動支援センター規程	34
ヒューマン・サービス支援室規程	35
ボランティア活動支援センター名簿	36
ヒューマン・サービス支援室名簿	36
2023 年度 学生コーディネーター代表部名簿	36

はじめに



ボランティア活動支援センター長

今津屋 直子 (教育学部教授・副学長)



2023年度は、新型コロナウイルスの5類感染症移行に伴い、ヒューマン・サービス支援室の活動にはコロナ禍以前のような活気が戻り、ボランティアEXPOやボランティアweekの開催、さらに学生コーディネーターの活動、他大学との交流や学外での活動を制限なく行うことができました。当支援室に、ご協力いただいている学生、教職員の皆さま、そして、活動を支えてくださっている関係者の皆さまに、心より感謝を申し上げます。

キリスト教主義教育を建学の精神とする関西学院において、隣人愛は教育理念の根底にあり、「Mastery for Service」の根幹にある概念です。キャンパスにおいては、正課・正課外活動等を通して、それらの精神が培われ、体現される機会が設けられています。ボランティアに関する授業の受講や、ボランティア活動に参加することもその機会の一つです。学生の皆さんは、子どもの頃から、困っている人を助け、迷惑をかけないような行為について、家庭や学校教育等の様々な場面で教えられ、自らの行動の規範にしてきた人が多いと思います。しかし、成長するにしたがって、素直な思いやりや優しさを行動に移すことが難しくなってきたてはいないでしょうか。役に立ちたい気持ちはあっても、ボランティア活動はハードルが高いなと思っている人がいるかもしれません。

市民の社会貢献に関する実態調査（内閣府2022年度）によると、2021年の1年間にボランティア活動を「したことがある」と回答したのは17.4%、「したことがない」は82.6%であり、活動への参加の理由には「社会の役に立ちたいと思ったから」「自己啓発や自らの成長につながるため」等がありました。また、ボランティア活動の妨げになっている理由として「参加する時間がない」「ボランティア活動に関する十分な情報がない」「参加する経費等（交通費等）の負担」「参加するための手続きがわかりにくい」「一緒に参加する人がいない」等が挙げられていました。以上の結果は、ボランティアに興味がある人たちの背中を押して、思いやりや志を同じくする人たちを繋ぐような支援が欠かせないことを示しています。本学においては、ボランティア活動支援センターがそのような役割を担う存在でありたいと願っています。

2024年1月1日に発生した能登半島地震について、被災地での学生によるボランティア活動は次年度へと持ち越されることになりましたが、募金活動は卒業式と新年度の入学式にて実施されました。募金活動に対して、学生、保証人の皆さまからたくさんのご支援をいただくことができ、また、募金活動を通して学生たちのボランティアに対する意欲も高まったようです。

今後も引き続き、当センターおよびヒューマン・サービス支援室の活動に対してご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

ヒューマン・サービス支援室長

関 嘉寛 (社会学部教授)



私たち関西学院大学ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室（以下、支援室）の2023年度の活動報告書が完成しました。新型コロナが5類に移行し、多くの活動が新型コロナ感染拡大前の状況に戻りつつある中で、支援室でも、試行錯誤しながらミッションを達成すべく、活動をしました。

2023年度は、専従コーディネーターの交代・増員という大きな変更がありました。また、これからの5年を見据えた中期計画も実施の2年目となりました。私たちのミッションを「社会に関わり、人に仕えるKGボランティアを支えます。」と新たに定め、それに沿って各活動を見直し、特徴づけていく作業を行いました。

また、2024年1月1日に発生した能登半島地震での支援活動の検討も始めました。関西学院大学における被災者支援活動は関東大震災に遡ります。そして、1995年に発生した阪神淡路大震災では、被災をし、多くの方々のご支援により、復旧・復興することが出来ました。これらの経験を活かし、数は多くなくても被災されたひとり一人に丁寧に寄り添う活動を続けていくつもりです。

さまざまな活動の報告になりますが、ぜひみなさんと共有しながら、学生たちに学び多き学生生活を提供する方法をみなさんと考えていけたらと思っています。ぜひ、ご意見やご感想などもいただければ幸いです。これからも、みなさまのますますのご支援・ご指導のほどよろしく申し上げます。

末筆になりますが、みなさまのますますのご発展を祈念します。

ボランティアコーディネーター

岡 秀和



私は2022年度末で契約任期を迎え、退職しました。退職後は全国のボランティアセンターを巡るなど、自分なりに学ぶ期間を過ごしていました。その後、ご縁があり、10月からはまた新たな契約で支援室の活動に関わることになりました。

支援室に戻ってきてからは、2022年度までと同様に私は主に神戸三田キャンパスを担当しました。これまでの2年間で学生COが地域活動に参加したことで、彼ら自身が徐々に地域の希望と課題について認識し、アプローチを考えるようになりました。またKG-VNETの学生たちとも関係を徐々に深め、ボランティアEXPOやVNET団体所属メンバーの交流会など協働して行われるようになりました。このように、三田キャンパスならではの学生同士・学生と地域の方の協働が生まれ、学生たちの主体性が発揮されたことが印象的な1年でした。これからは、この協働や主体性の面白さをさらに広めて、学生たちとボランティアの出会いをさらに繋げていきたいと思えます。

私たちだけではできないことなので、ぜひ皆さまにお力添えいただければと思います。今後ともご支援・ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。

ボランティアコーディネーター

小林 真綾



ヒューマン・サービス支援室が開設してから7年、コロナ禍も落ち着き変化のあった1年でした。専従COの入れ替わりや増員に伴い、3キャンパスでの活動の拡充に注力しました。

ボランティア紹介に留まらず、学生COの経験や個性を活かしながら被災地支援や他大学との合同企画、ボランティアweek等を通じてボランティアを体験してもらえる機会を作り、例年以上に一般学生にボランティアの魅力を直接感じてもらうことができたと思えます。

学内の教職員以外にも、西宮市社会福祉協議会やNPO法人日本災害救援ボランティアネットワークの皆様、大学近隣で地域活動に携わっている皆様とのつながりや交流も年々増えており、支援室の活動の幅を広げられていると感じています。これは学生のみならず、教職員にとっても大きな学びや刺激となりました。

また、今年度は学生COの研修にも注力し、春休みには6年ぶりとなる合宿を千刈キャンプで実施しました。この合宿では学生・教職員と一緒にボランティア活動の意義や支援室の活動についての考えを深め合いました。時間をかけて語り合ったり、時には大笑いしながら寝食を共にし、協働することの大切さを改めて実感することができたひと時でした。

私は今年度をもちまして退職となりました。コロナ禍と同時に着任し身動きも取れない中、オンラインを駆使しながら試行錯誤し、私自身も成長できた4年間でした。お世話になった皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。

今後ともヒューマン・サービス支援室をどうぞ宜しくお願いいたします。

ボランティアコーディネーター

沖本 祐基



ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室が開室して7年が経ちました。私は2023年度よりコーディネーターとして着任しました。

ボランティア情報も年々増え、学生や地域団体が相談に来ていただける環境を継続的につくることができていると思います。

西宮聖和キャンパスでは、ボランティア week を実施しましたが、その中で、子ども・教育をテーマとしたトーク企画を初めて開催することができました。また、学生が運営するボランティア団体とのつながりも少しずつ築くことができ、西宮聖和キャンパスでの活動の第一歩を学生たちと共に、大きく踏み出すことができました。

災害支援活動では、令和6年能登半島地震の発生を受けて、学生たちから「自分たちも、今できることに取り組みたい」という声が支援室に集まり、学生による募金活動を2023年度卒業式に実施しました。学生だけでなく、保証人の方々からも温かい支援をお預かりし、義援金・支援金として送金することができました。この場をもってお礼を申し上げます。

(詳細はP17をご参照ください)

今後もさらに多くの学生がボランティア活動に参加するきっかけを作れるように、教職員・学生COが一丸となって取り組んでいきたいと思っておりますので、引き続きのご支援・ご指導をどうぞよろしくお願い申し上げます。

2023 年度学生コーディネーター 西宮上ヶ原・西宮聖和代表

花谷 実咲 社会学部 3 年

佐藤 日和 社会学部 2 年



2023 年度は新型コロナウイルスによる制限がなくなり、対面の活動を不自由なく行うことができるようになり、マスクを着用せずに活動できるようになったことで、みんなの表情が分かり意思疎通が取りやすくなりました。

学生 CO としては、2 年生を中心に経験が浅いメンバーが中心となって活動することになった 1 年だったため、様々な課題に直面することも多くありました。私たち代表部も例外ではなく、日々悩みながらの活動になりました。それでも、職員の皆様やメンバーの協力のおかげで 1 年の活動を無事に終えることができましたと感じます。

5 月からは個性豊かな新メンバーが多数加入したこともあり、学生 CO 同士での交流機会や密度の濃い話し合いの機会を設けることなど、意識的に取り組んできました。これにより、学生 CO 同士の交流がより活発になりました。メンバー同士で誘い合ってボランティアに参加するなど、学生 CO の活動の幅も広がり、またメンバー一人一人のボランティアへの興味関心がより広がったように思います。また、キャンパス間交流も活発になったため、他キャンパスで独自で行っている活動を知ることで、刺激を受けることも多々ありました。

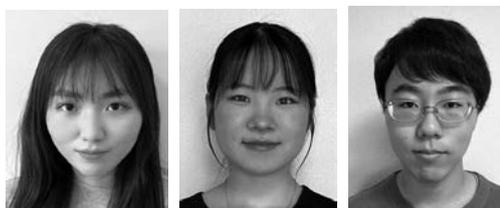
2023 年度は学生 CO 同士の関係性を深めて関心を広げるための期間だったと思います。この 1 年間で培ったものを活かして、2024 年度は私たちの活動目的である「関西学院大学のボランティア活性化」により貢献できる 1 年にしていきたいと思います。引き続きよろしくお願いいたします。

2023 年度学生コーディネーター 神戸三田共同代表

菊池 美輝 総合政策学部 3 年

丸谷 友香 総合政策学部 3 年

小鹿 陽生 理学部 2 年



2023 年度はこれまでの活動を活性化させるとともに、新たな取り組みに挑戦し、活動の幅が大きく広がった 1 年になりました。

KG-VNET 交流の活発化や神戸市との連携が開始されたように、外部との関わりが増えたことで、学生 CO の活動がより広く知られるようになりました。また、これらはメンバーの積極的な活動への参加にも繋がっていったと感じています。

さらに、三田市社会福祉協議会との連携のもと、2022 年度から開催しているボランティアツアーを継続して行うなど、安定して実施できる活動も増えました。このように、三田キャンパスでも、安定した活動基盤が整ってきたと感じています。これは、メンバー一人一人が学年の垣根を越えて協力し合い、積極的に行動してきた成果だと考えています。

この 1 年間、メンバーと共に活動の活発化と拡大に尽力し、学生 CO の活動の広がりを強く感じました。2024 年度も引き続き、活動のさらなる活発化を目指し、「関西学院大学のボランティアの活性化」が実現できるように努めていきたいと思います。

最後に、活動を支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。

ヒューマン・サービス支援室



1. ヒューマン・サービス支援室とは

学内における位置づけ

関西学院大学ボランティア活動支援センター ヒューマン・サービス支援室（以下、支援室）は、大学内におけるボランティアセンターの役割を果たす部署として2016年4月に設置されました。

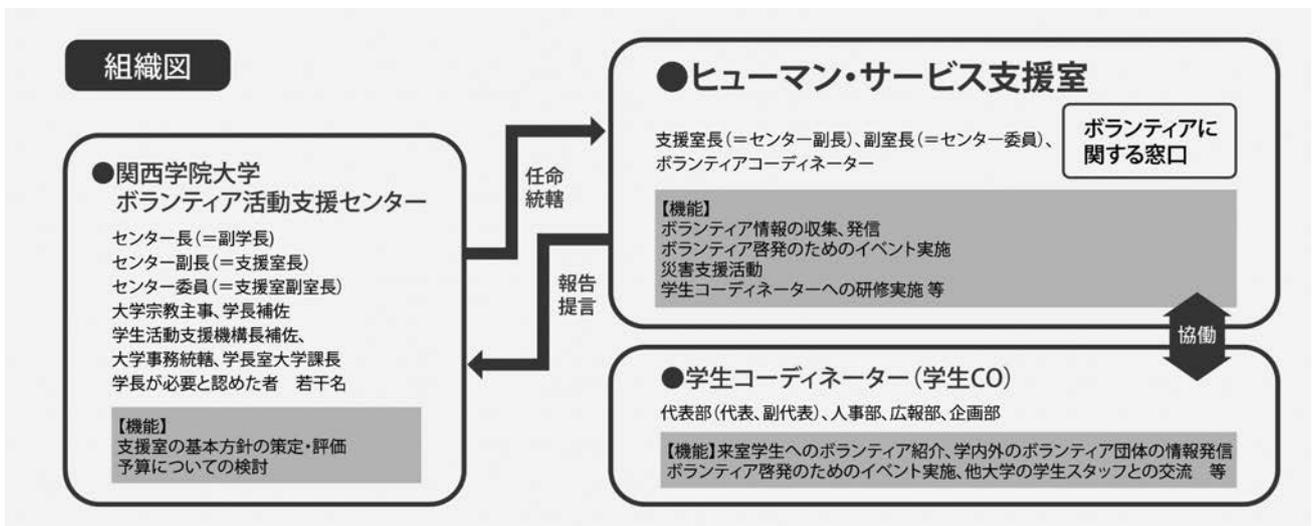
支援室の母体になったのは、1995年阪神・淡路大震災後に設立された関西学院ヒューマンサービスセンター（HSC）です。HSCでは、教職員と学生が協力して、さまざまなボランティアコーディネートを行っていました。

しかし、HSCは、関西学院大学内におけるボランティア活動の組織的な支援という点において課題を抱えていました。このような課題に対応するために、何年間かにわたる学内協議の末に、大学内に位置づけられた組織として支援室が開設されました。

支援室は、関西学院大学のスクールモットーである“Mastery for Service”を体現するボランティア活動を、さらに広げ、多くの学生が参加できる環境作りをミッションとしています。そのために、ボランティア情報の発信や共有を中心に、ボランティアをしたい学生とボランティアをしてほしいニーズをつなげていく活動を行っています。その過程では、活動している人びと、活動したい学生たちの自主性を尊重することを大切にしています。

また災害時、被災地への継続的な支援も支援室に課せられたミッションです。

関西学院大学では、関東大震災時もボランティアを現地に派遣しているほど、災害救援において伝統があります。この伝統を受け継ぎ、災害が多発する現代社会において、被災者や被災地に寄り添う活動を組織的にやりたいと考えています。



中期目標の策定

ヒューマン・サービス支援室の設立から8年。私たちが取り組むことや大切にしている価値観をより具体的に明文化し、目指していくために、ミッション・ビジョンを策定しました。

支援室の教職員、学生コーディネーターがともに考え、対話を重ね、思いを込めて策定しました。ミッションを念頭に置き、ビジョンを目指して学生・教職員、そして地域の皆様との協働を進めていきたいと思えます。

〈ミッション：存在意義や使命〉

社会とは、地域や課題に限定せず、多様な場や人、つながりをイメージしています。

社会は誰かに定義されるものではなく、自分自身で捉えるという意味合いも含んでいます。

仕えるとは、キリスト教のリーダーシップ精神を表す「サーバント・リーダーシップ」を示します。

また、関西学院大学および学生たちは、伝統的にも、積極的にボランティアに取り組んできました。元気に明るく素直に、いきいきと活動したり、考えるよりもまずは身体が動く、そんなことが私たちがイメージする"KGボランティア"です。KGボランティアは正解がなく、ひとりひとりが動きながら考えるものでもあると思います。そんなひとりひとりのKGボランティアを支えていくことが私たちの使命です。

〈ビジョン：目指す理想の姿〉

私たちは、人と社会にかかわり、つながる中で生かされています。個人化が進んだ時代においてはそれらが見えにくく、つくりにくくなっています。つながりは、ボランティアによる人や社会とのちょっとしたかかわりの中からつくることができます。

かかわる機会と場としてボランティアを通してつながりがひろがることで、人や社会と響き合い、より豊かな可能性に開かれた生活、地域、社会を一緒につくっていくことができると信じています。このような思いを持って、いろいろなことを吸収できる大学時代を過ごすみなさんにボランティアの機会や場を提供することが、私たちが目指す理想の姿です。

2023 年度の取り組み

設立から8年目に入る2023年度は、下記の取り組みを行いました。

重点事項	取り組み内容	活動内容
広報の充実	ブランディングの確立	私たちが取り込むことや大切にしている価値観をより具体的に明文化し、目指していくために、ミッション・ビジョンを策定しました。(P9)
	広報資料の見直し	ニュースレターをリニューアルし、ミッション・ビジョンを図にして皆様に知っていただけるようなデザインにしました。一方でその他の広報資料の見直しには至らなかったため、来年度の重点事項として継続したいと思います。
連携の充実	地域連携の拡大	NUCでは、西宮市社会福祉協議会ボランティアセンターや共生のまちづくり課に学生CO研修の講師として参加いただいたり、日常的に情報交換をするなど連携が深まりました。 KSCでは、三田市若者まちづくり課・三田市社会福祉協議会との連携を継続しボランティアツアーを実施するなど、連携が深まりました。 また新たに神戸市地域協働局との連携を開始し、学生COとの意見交換会を開催したほか、KG-VNET加入団体とつなぐなどしました。
	学内ネットワークの拡充	総合企画部（SDGsキャンパスサポーター）と連携し、新入生オリエンテーションイベントでは共同でイベントを開催しました。その他、CIEC、社会連携センター、人間福祉学部実践教育支援室とは継続的に情報交換をするなど連携を継続しました。
KSCでの活動	キャンパス事務室との情報共有	アカデミックコモンズプロジェクトの担当職員と定期的に情報交換をするなど連携が深まりました。
	活動場所の充実	アカデミックコモンズ内で出張ボランティアセンターやボランティアweekのイベントを開催することができました。一方で、継続的な開室場所の充実に至らず、引き続き検討していきます。
災害対応の確立・準備	災害救援、復興支援活動のプラットフォームづくり	入学式でトルコ・シリア地震、卒業式に能登半島地震のための募金活動を実施することができました。また能登半島地震発生時には、これまで整理した対応手順に沿って教職員で緊急ミーティングを開催し今後の方向性を決めたり、関係部署との連携を円滑に進めることができました。
	災害発生時の対応の整備	

2024年度計画

重点事項	取り組み内容
広報の充実	広報資料の見直し
	学生・教職員からの認知度の向上
講座・研修、計画策定	学生COの研修プログラムの確立
学内連携	他部署との定期的な情報交換
地域連携	地域と協働したコーディネーションの展開
災害支援	継続的な支援の検討（募金活動、報告会など）
	支援室主催の現地ボランティア活動の検討
KSCでの活動	活動場所の充実
	神戸三田キャンパス事務室との連携
NSCでの活動	活動場所の検討
	キャンパス内での認知度の向上
運営体制の強化	専従コーディネーターのステップアップの明確化
	教員のかかわり深化

2. ボランティアコーディネート

支援室の利用状況

2023年度は対面の活動も来室者も前年度より増えてきました。地域の活動もより活発になり、支援室に寄せられるボランティア情報数も増加しています。

支援室では来室学生への活動紹介に加えて、地域のボランティア団体の相談対応を引き続き行っています。

【西宮上ヶ原キャンパス】

月別来室者のべ数

(人)

月	ボランティア紹介	ボランティア団体相談	その他	合計
4月	19	4	3	26
5月	25	2	7	34
6月	17	12	7	36
7月	34	8	31	73
8月	2	4	1	7
9月	10	0	4	14
10月	24	3	22	49
11月	6	6	9	21
12月	8	13	11	32
1月	5	6	6	17
2月	11	4	8	23
3月	2	5	3	10
合計	163	67	112	342

【神戸三田キャンパス】

月別来室者のべ数

(人)

月	開室日数	ボランティア紹介	ボランティア団体相談	その他	合計
4月	7回	4	0	0	4
5月	12回	2	9	8	19
6月	13回	0	6	0	6
7月	12回	9	4	17	30
9月	5回	0	2	0	2
10月	13回	13	12	45	70
11月	20回	12	20	15	47
12月	14回	1	6	16	23
1月	11回	7	7	3	17
合計	107回	48	66	104	218

【ボランティア紹介内訳（Welcomeシート記入者分）】

*Welcomeシートとは、支援室に来室した学生に記入してもらっているシートで、興味があるボランティアのジャンルを√してもらうことでボランティア紹介に活用しています。

(人)

キャンパス	西宮上ヶ原								西宮聖和	神戸三田							合計
	学年/学部	神	文	社会	法	経済	商	人間福祉		国際	教育	総合政策	建築	理	工	生命環境	
1年生	1	14	13	12	2	2	6	11	2	10	2	0	0	7	0	0	82
2年生	1	7	12	10	7	7	1	0	5	5	1	2	0	2	0	0	60
3年生	0	10	6	6	6	0	1	1	4	4	0	0	0	0	0	0	38
4年生	0	5	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
研究科	0	1	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	18	20
合計	2	37	31	33	16	9	8	13	11	19	3	2	0	9	0	18	211

*Welcomeシートを記入していない学生や、複数回来室した学生は1枚しかシートを記入していないケースがあるため、来室者のべ数と利用者内訳で人数が違ってきます。

*学生COは来室者数としてカウントをしていません。

*その他は上記学部以外の研究科、科目等履修、教職員等です。

外部団体からの情報提供数

支援室では、提供していただいたボランティア情報を21種類のジャンルに分けて紹介しています。ジャンルは、1つの情報に対して最大3つまで選択しています。

ジャンルごとの情報件数 (件)

子ども・青少年	子どもたち、中高生などに関わる活動（キャンプ、子ども食堂、子どもたちの工作サポートなど）	90
教育	主に教科指導（勉強）に関わる活動（学校内での児童・生徒支援事業、塾での勉強支援、学習支援活動など）	45
福祉（障がい）	障がいがある方の余暇活動の同行、支援施設での活動など	27
福祉（高齢）	高齢者と関わる活動（介護施設での活動など）	19
医療・保健	献血、病院でのボランティア活動、心に病を持つ人への支援活動など	0
国際	国内外問わず、海外の方と関わる活動（海外での支援活動、国内での日本語教育支援活動など）	26
環境	環境保護・保全に関わる活動（植林活動、ごみゼロ運動、清掃活動、水質保全活動など）	34
動物	動物保護、生態系の再生・保全活動など	0
芸術・文化	美術館・博物館での活動、音楽祭のサポート、地域文化の保全活動など	17
スポーツ	スポーツに関わる活動	12
災害支援	防災活動、災害時の救援・支援活動、災害記念式典の運営など	10
まちづくり	地域住民と関わる活動、地域PR活動、まちあるきの運営など	54
祭り・イベント	お祭りや行事の運営、お手伝いなど	47
人権	難民・難病がある方の支援や権利擁護活動など	4
スタディツアー	参加者と現地の人々の相互理解や体験学習を目的とする活動（平和学習、文化体験など）	8
オンライン	zoomなどのwebシステムを利用して在宅で参加できる活動など	10
講座・セミナー	講演会、勉強会、ワークショップなど	25
寄付・募金	団体への支援金、災害時の義援金など	1
KG-VNET	本学の学生が所属している、もしくは活動やミーティング等を行っている団体	4
SDG s	SDG sをテーマに取り扱っている活動・団体	3
その他	上記にあてはまらないボランティア活動	28
	総計	464

月別情報件数 (件)

4月	27	春学期合計 117
5月	35	
6月	31	
7月	23	
8月	1	
9月	11	秋学期合計 108
10月	36	
11月	7	
12月	8	
1月	29	
2月	9	
3月	8	
総計	225	

3. 情報発信

ヒューマン・サービス支援室では、ボランティアに関する啓発イベントの参加者募集や日常活動の発信のため、ホームページや学内ポータル (kwic)、SNSなどを通じて情報発信をしています。個別のボランティア情報については学内のチラシラックへの配架や掲示板での掲示、支援室での紹介（コーディネート）を通じて発信を行っています。

HP

SNS (X、Instagram、Facebook、YouTube)



ヒューマン・サービス支援室のチラシ

ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室

ボランティア「したい人」と「してほしい人」を繋ぐ
関西学院大学のボランティアセンター！

✉ kg.hssso.info@kwansei.ac.jp ☎ 0798-54-6061

西宮上ケ原キャンパス
平日 8:50～16:50 (11:30～12:30 は閉室)
※土日、夏季・冬季の一斉休業期間は終日閉室

正門入って、すぐ左

神戸三田キャンパス
火・水・木曜日 10:30～17:00 (11:30～12:30は閉室)
※祝日、一斉休業期間、夏休み・春休みは終日閉室

II号館 2階 210 教室

あなたにピッタリなボランティア
一緒に探して、ご紹介！
あなたの生活スタイルに合わせて
無理なく気軽にやってみよう！

東宮予約・相談フォーム

SNS

4. 災害支援・防災啓発

ヒューマン・サービス支援室としては昨年に引き続き、被災地での現地活動は実施できませんでしたが、募金活動を通じて支援活動を行ったほか、写真洗浄会なども実施しました。その他、例年通り「災害ボランティア養成講座」を実施して、現地でのボランティア活動や、西宮周辺で災害が発生した場合を想定して体験形式で学ぶ機会をつくりました。

また、令和6年能登半島地震の発生に際して、まずは日ごろからつながりのあるNPO法人日本災害救援ボランティアネットワークや、本学の教員が代表を務める被災地NGO協働センターなどと連携して情報収集を行いました。現地状況や本学の体制をふまえ、現地ボランティアの実施検討は2024年度に行うことにしました。一方で、2023年度内にも何か現地のためにできることをしたいという学生たちの思いを受けて、まずは関西学院宗教活動委員会等との連携のもと、卒業式での募金活動を行うことにしました。現地での活動を希望する学生に対しては「災害ボランティアガイダンス」などを通じて、活動に向けての準備を丁寧に伝えたほか、信頼できる活動先を紹介するなどの形で側面的にコーディネートを行いました。

トルコ・シリア地震募金活動（入学式） / 報告会

- 日 程**：2023年4月1日（土）3日（月）[2023年度入学式]
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館1階ラウンジ、正門前、銀座通り
参加者数：延べ10名
内 容：募金の呼びかけ、現地支援の写真・資料展示
目 的：(1) 2023年2月に発生したトルコ・シリア地震における被災者・被災地支援のため
 (2) 学生の支援活動への関わり、関心を醸成するため
募 金 額：合計218,073円
送 付 先：特定非営利活動法人難民を助ける会、NPO法人CODE海外災害援助市民センター



- 日 程**：①2023年12月20日（水）17：00～18：00、②12月21日（木）15：20～16：20
場 所：①西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室
 ②神戸三田キャンパス アカデミックコモンズシアター
参加者数：①9名（学生CO 1名、一般 2名、教職員 6名）
 ②9名（学生CO 5名、一般 3名、教職員 1名）
共 催：NPO法人CODE海外災害援助市民センター
内 容：トルコ・シリア地震の活動報告（CODEスタッフ、本学からCODEのインターンに参加している学生より）
目 的：学生の支援活動への関わり、関心を醸成するため



災害ボランティア養成講座



- 日 程**：2023年9月14日（木）13：00～16：30
場 所：西宮上ヶ原キャンパスE号館104教室
参加者数：学生14名、教職員1名
共 催：西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター
NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）
関西学院大学災害コミュニティつむぎ
- 内 容**：①アイスブレイク「一致するまで終われまテン」
②講座「被災地の様子と災害ボランティアの基礎知識」
③体験型ワークショップ「避難所で困ることは何だろう？」
- 目 的**：(1) 西宮や自宅周辺が被災した場合に向けて「備えられる」「ボランティアとして活動できる」学生の養成
(2) 他地域が被災した場合に向けて「行動できる」学生の養成
(3) 地域の災害支援団体と学生が「顔が見える関係性」に

災害食体験／仁川百合野町地すべり資料館ツアー



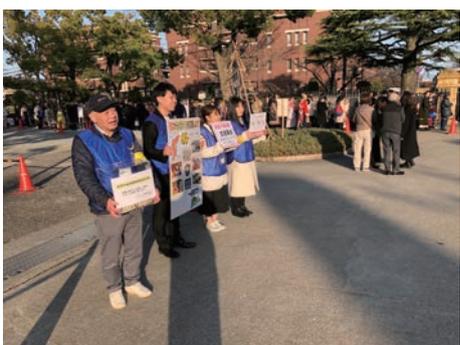
- 日 程**：2023年12月5日（火）12：45～14：50
場 所：①西宮上ヶ原キャンパスH号館303教室
②仁川百合野町地すべり資料館
- 参加者数**：①3名、②0名
共 催：NPO法人 日本災害救援ボランティアネットワーク（NVNAD）
西宮市社会福祉協議会 ボランティアセンター
- 内 容**：①災害食体験会、災害食をテーマのクイズ大会
②仁川百合野町地すべり資料館への見学ツアー
- 目 的**：(1) 地すべりのメカニズムや過去の災害について学ぶことで、防災の重要性を考える
(2) 災害ボランティア活動への参加の「入口」とする
(3) 少ない時間でも災害について知り、考えられる場を提供する

被災者の思い出を守ろう！ 写真洗浄会



- 日 程**：2024年3月9日（土）13：00～16：00
場 所：西宮上ヶ原キャンパスH号館302教室
参加者数：13名
共 催：関西学院大学災害コミュニティ つむぎ
 被災支援ボランティア団体おたがいさまプロジェクト
内 容：オリエンテーション、プチ防災セミナー、写真洗浄、感想共有
目 的：(1) 被災地から離れていてもできる支援活動を行う
 (2) 学生・教職員が災害ボランティアに取り組むきっかけを作る

能登半島地震募金活動



- 日 程**：2024年3月18日（月）、19日（火）
 [2023年度卒業式]
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 吉岡記念館1階ラウンジ、
 正門前、銀座通り
参加者数：延べ18名
内 容：募金の呼びかけ
目 的：(1) 2024年1月に発生した能登半島地震における
 被災者・被災地支援のため
 (2) 学生の支援活動への関わり、関心を醸成するため
募 金 額：合計237,734円
送 付 先：日本赤十字社
 NPO法人日本災害救援ボランティアネットワーク
 (NVNAD)

5. 地域連携

西宮上ヶ原・西宮聖和キャンパスでは、昨年度に引き続き、西宮市社会福祉協議会と連携して、西宮地区の活動に学生COが参加するボランティア見学ツアー（P27）を実施しました。

神戸三田キャンパスでは、昨年度に引き続き、三田市社会福祉協議会と三田市役所の若者まちづくり課と連携し、三田地域連携（さんちきれん）として定期的に学生CO・教職員と懇談の機会を設けることができ、神戸三田キャンパスボランティアEXPO（P26）に社協ブースを出展したり、三田版のボランティア見学ツアーを実施したりすることができました。その他にも、神戸三田キャンパスから近い地域で開催されている「ウッディーカルチャーふれあい活動推進協議会 役員会」へ参加したり、SSV関西学院などKG-VNET加入団体と地域団体をつなぐなど、様々な連携を深め、学生と地域活動がつながるきっかけを作ることができました。また、神戸市地域協働局と初めて意見交換会を行い、学生COやEco-Habitat関西学院（VNET加入団体）の学生が見学ツアーとして地域をまわるなどの具体的な機会につながりました。

今後も、地域と学生が双方向にかかわりあい、つながりあう関係性をつなぎ、活動の発展を目指していきたいと思えます。

三田地域連携（さんちきれん）



- 日 程：**①2023年11月7日（火）13：30～15：00
 ②2024年3月1日（金）13：00～15：00
 ③2024年3月14日（木）15：00～17：00
- 場 所：**①関西学院大学 神戸三田キャンパス
 ②③三田市総合福祉保健センター
- 内 容：**地域活動の報告、各組織の活動の共有、広報手段の相談や提案等
- 目 的：**地域活動の状況や学生のニーズなど直接地域の方と学生が話をして具体的に連携できることを模索する

神戸市地域協働局との意見交換会

- 日 程：**①2023年11月8日（水）15：20～17：00
 ②2023年12月20日（水）15：20～17：00
- 場 所：**関西学院大学 神戸三田キャンパス
- 内 容：**地域活動の報告、各組織の活動の共有、広報手段の相談や提案等
- 目 的：**地域活動の状況や学生のニーズなど直接地域の方と学生が話をして具体的に連携できることを模索する

6. 関西学院大学ボランティアネットワーク (KG-VNET)

関西学院大学のボランティアの活性化のために、関学大生がボランティア団体に所属し、主体的に活動することへの支援はとても重要なことだと考えています。そのため、ヒューマン・サービス支援室がとりまとめを行い「関西学院大学ボランティアネットワーク (KG-VNET)」をつくっています。ヒューマン・サービス支援室は加入団体の広報協力や活動運営の相談に乗る他、連携してイベントを開催する、団体間での交流会を実施するなど様々な形でサポートをしたいと思います。

今年度は、春ボラやボランティア EXPO (P24、26 参照) などの学生 CO 企画を通じて各団体の新メンバー勧誘をサポートしたほか、募集の工夫を考えるためのワークショップを実施しました。

2023 年度加入団体

○学生連盟加盟団体 (1 団体)

宗教総部

○大学登録団体 (11 団体)

関西学院大学災害コミュニティつむぎ

アイセック関西学院大学委員会

Eco-Habitat 関西学院

SSV 関西学院

学習ボランティアサークル ALIVE

CLUB GEORDIE

K.G.BrainHumanity

J-FUN ユース K.G.

聖和キャンパス学生 YMCA

乳幼児の遊び研究サークル 子どもの友

ほっとコミュニティ

○学内団体 (13 団体)

ivusa 兵庫西宮クラブ

関西学院大学 YMCA 神戸三田キャンパス

Switch My Angle

CORs

国内ボランティアサークルつなぐ

日本手話サークルはなまる

HeForShe 関西学院大学

Bridge for Children, KGU

ボランティアサークル Bell

TRY (外国人労働者・難民と共に歩む会)

Re.colab KOBE

ほーみーりんく

そらまめ

○学外団体 (7 団体)

一般社団法人 new-look

学生団体 Infinite Connection

関関 COLORS

西宮地区 BBS 会

西宮まちづくり連携プロジェクト

PENS

ボランティア・フレンド・メディア神戸 (VFM 神戸)

三田 KG-VNET 交流会



- 日 程**：2023年11月27日（月）19：00～20：00
場 所：神戸三田キャンパス 第二厚生棟1階学生ホール
参加者数：11名（4団体）
内 容：
 - ・アイスブレイク（巨大サイコロ自己紹介）
 - ・団体でのお悩み共有（対外的、対内的）
 - ・今後のVNET連携について相談**目 的**：
 - ①参加者同士が連絡を取り合える関係になり、今後も交流をしたいと思える個人間のつながりができる
 - ②自団体の困りごとや悩みごと、もっとこうしたいということ共有し、他団体の例などを聞くことで解決に向けて動き出す

新入生の心をつかむ！新メンバー募集ってどうするの？



- 日 程**：2024年2月29日（木）13：00～15：30
場 所：西宮上ヶ原キャンパスH号館教室
参加者数：15名（7団体）
講 師：川中大輔氏
（シチズンシップ共育企画代表/龍谷大学准教授）
内 容：
 - ・「呼び込み」×「巻き込み」の考え方について
 - ・広報やマネジメントについて 等**目 的**：新入生に自分たちの団体や活動の魅力を伝えられるかを考える
新メンバー加入後、チームとして一緒に活動していくうえでのポイントを考える

学生コーディネーター

1. 学生コーディネーター（学生CO）とは

学生COは教職員と協働し、「関西学院大学のボランティアの活性化」を目的として活動している団体です。学生COの活動は大きく2つあります。

①ルーティン活動

支援室を訪れた学生とお話しながらその人に合ったボランティア情報の紹介（コーディネーション）をします。学生COそれぞれが授業の空き時間を使って実施しており、コーディネーションの他にも、ボランティア情報の整理やイベント準備なども行います。

②イベントの企画・実施

関学生にとってボランティアがより身近なものとなるように、様々なイベントを企画・実施しています。イベントを通じて学内でのボランティアの啓発やボランティアを始めのきっかけ作りなどを目的として楽しいイベントを企画しています。

【学生CO年間目標】

2023年度の年間目標は「#みんなでコラボラ」でした！学生CO内外を巻き込んで交流活性化を向上させる意味を込めて、「コラボレーション」と「ボランティア」を合わせて、「コラボラ」とし、年間目標として設定しました。

今年度は、関西大学ボランティアセンター学生スタッフとのコラボ企画をはじめとする他大学との交流や、キャンパスを超えての交流、ボラツアーでの地域とのつながりなど、あらゆるところで「コラボレーション」を実現することができ、新しいことを生み出すことができました。学生COにとって、新しいスタートを切ることができた一年にもなったと思います。

また、部署目標、企画目標、個人目標など細かく目標やテーマを設定することで自分たちが行っている活動を明確に、目的意識をはっきり持って活動することができました。

2. 学生コーディネーターの活動

所属人数 (2023年10月13日時点) (人)

キャンパス	西宮上ヶ原								西宮聖和	神戸三田						計
	神	文	社会	法	経済	商	人間福祉	国際		教育	総合政策	建築	理	工	生命環境	
1年生	0	0	3	6	1	0	3	0	0	2	0	1	3	1		20
2年生	0	0	4	7	3	1	2	3	0	3	0	1	1	0		25
3年生	0	0	2	0	0	0	0	1	0	6	2	0	0	0		11
4年生	0	1	1	4	1	1	1	1	2	1					1	14
M1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0					0	1
各学部合計	0	2	10	17	5	2	6	5	2	12	2	2	4	1	1	71
各キャンパス計	47								2	22						

年間活動スケジュール

日程	内容	場所・ツール
2023年		
4月初旬	新入生オリエンテーション登壇、「春ボラ」配布	西宮上ヶ原キャンパス、神戸三田キャンパス、西宮聖和キャンパス 各教室等
4月6日(木)	KG LIFE出展 はじめようボランティア！なんでも相談コーナー！	西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室
4月7日(金)	START UP KSC！出展 ～はじめようボランティア！ボランティア説明会&なんでも相談コーナー～	神戸三田キャンパス II号館101教室
4月18日(火)～19日(水)	ボランティアEXPO開催	西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館2階ホール
4月26日(水)～27日(木)		神戸三田キャンパス 第二厚生棟2階学生ラウンジ
4月～5月	学生CO新歓	対面/オンライン(Zoom)
5月27日(土)	基礎研修	西宮上ヶ原キャンパス H号館301教室
6月～7月	ボランティア見学ツアー	西宮市/三田市周辺
7月3日(月)～7日(金)	西宮上ヶ原出張ボランティアセンター	西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館1階ロビー
7月4日(火)～6日(木)	神戸三田出張ボランティアセンター	神戸三田キャンパス アカデミックcommons1階
7月11日(火)～13日(木)		プレゼンテーションルーム
9月7日(木)	応用研修	西宮上ヶ原キャンパス H号館202教室
10月11日(水)～13日(金)	西宮上ヶ原出張ボラセン	西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館1階ロビー
10月16日(月)～17日(火)		
10月24日(火)～26日(木)	神戸三田出張ボラセン	神戸三田キャンパス アカデミックcommons1階
10月31日(火)～11月2日(木)		プレゼンテーションルーム
11月26日(日)	関西学院大学×関西大学 クリーン大作戦	大阪梅田キャンパス周辺
11月27日(月)	神戸三田キャンパス KG-VNET交流会	神戸三田キャンパス 第二厚生棟1階学生ホール
12月4日(月)～8日(金)	ボランティアweek	西宮上ヶ原キャンパス構内 神戸三田キャンパス構内 西宮聖和キャンパス構内
	「chocoっと！ボランティア体験」	
	「ボランティアツアー～はじめの一歩、お手伝いします！～」	
	「回収企画」	
12月16日(土)	「パネル展示～あなたのキッカケはどこから？」	
	学生CO総会	西宮上ヶ原キャンパス H号館202教室
2024年		
2月28日(水)	オンライン・クリーンチャレンジスポーツゴミ拾い～関学×関大×龍大～	西宮市総合福祉センター
2月15日(木)～16日(金)	合宿型研修	関西学院千刈キャンブ

活動報告

春ボラ

- 掲 載：** 新入生へ配布
kwic（学内ポータル）にてデジタルブックを公開
- 様 式：** PDF44ページ（A4判）、印刷部数：6500部
- 内 容：** ヒューマン・サービス支援室を含め、関学生が所属するボランティア団体（西宮上ヶ原：7団体、西宮聖和：2団体、神戸三田：8団体、その他：8団体）の活動内容、EXPOの情報などを掲載した「春のボランティア情報誌」を作成
- 目 的：** ①自分に合ったボランティア団体を探す手助け
②新しい挑戦の選択肢の中にボランティアを入れてもらう
③関学生のボランティアとヒューマン・サービス支援室及び学生COを結びつける

掲載団体： ヒューマン・サービス支援室、学生CO、その他31団体

- 学生連盟加盟団体（1団体）
 - ・ 宗教総部
- 大学登録団体（11団体）
 - ・ 関西学院大学災害コミュニティつむぎ
 - ・ アイセック 関西学院大学委員会
 - ・ Eco-Habitat 関西学院
 - ・ SSV関西学院
 - ・ 学習ボランティアサークルALIVE
 - ・ CLUB GEORDIE
 - ・ K.G.BrainHumanity
 - ・ J-FUNユースK.G.
 - ・ 聖和キャンパス学生YMCA
 - ・ 乳幼児の遊び研究サークル 子どもの友
 - ・ ほっとコミュニティ
- 学内団体（12団体）
 - ・ ivusa兵庫西宮クラブ
 - ・ 関西学院大学YMCA神戸三田キャンパス
 - ・ Switch My Angle
 - ・ CORs
 - ・ 国内ボランティアサークルつなぐ
 - ・ 日本手話サークルはなまる
 - ・ HeForShe 関西学院大学
 - ・ Bridge for Children, KGU
 - ・ ボランティアサークルBell
 - ・ TRY（外国人労働者・難民と共に歩む会）
 - ・ Re.colab KOBE
 - ・ ほーみーりんく
- 学外団体（7団体）
 - ・ 一般社団法人new-look
 - ・ 学生団体Infinite Connection
 - ・ 関関COLORS
 - ・ 西宮地区BBS会
 - ・ 西宮まちづくり連携プロジェクト
 - ・ PENS
 - ・ ボランティア・フレンド・メディア神戸（VFM神戸）



KG LIFE 『はじめようボランティア & SDGs! 合同説明会 なんでも相談コーナー』



- 日 程**：2023年4月6日（木）
 ①10：30～11：00 ②14：30～15：00
- 場 所**：西宮上ヶ原キャンパス B号館102教室
- 参加者数**：延べ168名
- 内 容**：
 ・ボランティア情報チラシ閲覧コーナーの設置
 ・ヒューマン・サービス支援室の紹介
 ・ボランティア活動についての相談対応
- 目 的**：
 ①新入生にボランティアの魅力や、多様な活動があることを知ってもらう
 ②大学生活の中にボランティア活動という選択肢を持ってもらう
 ③ヒューマン・サービス支援室を知ってもらい活用してもらう

START UP KSC ! 『はじめようボランティア & SDGs! 合同説明会 なんでも相談コーナー』



- 日 程**：2023年4月7日（金）
 ①10：00～11：00 ②14：00～15：00
- 場 所**：神戸三田キャンパス II号館101教室
- 参加者数**：延べ35名
- 内 容**：
 ・ヒューマン・サービス支援室の紹介
 ・活動の注意点
 ・学生CO企画コーナー
- 目 的**：
 ①新入生にボランティアの魅力や、多様な活動があることを知ってもらう
 ②新入生に学生COの雰囲気や活動の楽しさを伝える
 ③新入生が「ボランティアは自分にもできることなんだ!」と気付いてもらう

ボランティア EXPO

日 程：①2023年4月18日（火）～19日（水）10：00～18：00
②2023年4月26日（水）～27日（木）10：00～18：00

場 所：①西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館2階ホール
②神戸三田キャンパス 第二厚生棟2階学生ラウンジ

参加者数（延べ）：上ヶ原 215名
三 田 128名

内 容：毎年開催している関学大生が所属するボランティア団体の合同説明会。今年のコンセプトは「映画館」。来場した学生は、自分の興味のある団体のブースを回り、先輩から直接活動内容などの話を聞くことができる。

目 的：「ちょっと新しいことに挑戦してみたいな」「ボランティアに興味があるけど、どうしたらいいかわからない…」と思っている学生の背中を押し、ボランティア団体への所属という選択肢を提示する

会場内では、明るく楽しい雰囲気づくりを心掛け、満足してもらってEXPOで見つけた新しい情報（ボランティア・団体）との出会いにワクワクしてもらうことを目指す

出展団体：ヒューマン・サービス支援室 学生CO、その他24団体

○学生連盟登録団体（1団体）

宗教総部

○大学登録団体（7団体）

関西学院大学災害コミュニティつむぎ

K.G.BrainHumanity

ほっとコミュニティ

学習ボランティアサークルALIVE

CLUB GEORDIE

Eco-Habitat関西学院

SSV関西学院

○学内団体（9団体）

ivusa 兵庫西宮クラブ

日本手話サークルはなまる

HeForShe 関西学院大学

Bridge for Children, KGU

ほーみーりんく

TRY（外国人労働者・難民と共に歩む会）

Re. colab KOBE

Switch My Angle

ボランティアサークルBell

○学外団体（7団体）

西宮地区BBS会

関関COLORS

PENS

一般社団法人new-look

ボランティア・フレンド・メディア神戸（VFM神戸）

学生団体Infinite Connection

三田市社会福祉協議会



ボランティア見学ツアー



- 日 程**：2023年6月2日（金）～7月7日（金）
- 場 所**：西宮市内、三田市内で活動している地域団体
- 内 容**：社会福祉協議会と連携し、学生CO向けのボランティア見学ツアーを実施。地域活動について知り、実際に体験する。
- 目 的**：
- ・ 学生COが地域活動を知る、参加するきっかけ作りを行う
 - ・ ボランティアの楽しさや魅力を知る
 - ・ ボランティア見学を今後のコーディネートに活かす
 - ・ 地域と大学の繋がりを作る

出張ボラセン



- 日 程**：①2023年7月3日（月）～7日（金）
 ②2023年7月4日（火）～6日（木）、11日（火）～13日（木）
 ③2023年10月11日（水）～13日（金）、16日（月）～17日（火）
 ④2023年10月24日（火）～26日（木）、10月31日（火）～11月2日（木）
- 場 所**：①③西宮上ヶ原キャンパス 学生会館旧館1階ロビー（ポケットママ前）
 ②神戸三田キャンパスアカデミックcommons1階 プレゼンテーションルーム(1)
 ④神戸三田キャンパスアカデミックcommons1階 プレゼンテーションルーム(2)
- 来場者数**：①52名、②19名、③32名、④58名
- 内 容**：ボランティア紹介、相談会
 ボランティアチラシ特集コーナーの設置 など
- 目 的**：
- ・ 支援室の認知度を上げる
 - ・ 支援室が学生主体の相談しやすい空間であることを感じてもらう
 - ・ 相談者の悩みや疑問を解決して、ボランティア参加の後押しをする

関西学院大学 × 関西大学 クリーン大作戦



日 程：2023年11月26日（日） 9：00～12：00
場 所：関西学院大学梅田キャンパス～阪急東通り周辺
参加者数：31名（学生CO 10名、一般6名、関西大学スタッフ10名、関西大学学生5名）
内 容：関西大学の学生と清掃活動を通し交流を行う
目 的：体育会の関関戦においても関わりのある関西大学と交流し、協力して清掃活動を行うことで、両大学の体育会以外の学生も交流するきっかけを作る。また、両大学のキャンパスもある大阪梅田駅周辺環境美化に努めるとともに、環境問題に対する意識向上に努める。

共 催：関西大学ボランティアセンター

ボランティア week



日 程：2023年12月4日（月）～12月8日（金）
場 所：西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田各キャンパス
参加人数：①27名、②3名、④9名、⑤84名、⑥39名
内 容：「chocoボラ～スキマ時間にボランティアしませんか?～」というキャッチコピーのもと、下記8つの企画を実施

1. ヒューマン・サービス支援室企画
 - ①choco っと手伝ってくれへん?～近くでできるボランティア～
 - ②防災プロフェッショナルへの道～地すべり資料館 ツアー～
 - ③ボランティア図書POP-UPコーナー
 - ④ボランティア個別紹介・個別相談会
2. 学生CO企画
 - ⑤choco っと！ボランティア体験（学内：切手整理）
 - ⑥ボランティアツアー～はじめての一步、お手伝いします!～（学外）
 - ⑦コンタクトケース・ペットボトルキャップでボランティア
 - ⑧パネル展示～あなたのキッカケはどこから?～

目 的：ボランティアは身近に参加できることを知ってもらいたい、最初の第一歩を踏み出すサポートをすることで次のステップに進んでもらう

学生 CO 総会



- 日 程**：2023年12月16日（土） 12：00～16：50
場 所：西宮上ヶ原キャンパス 社会学部棟202教室
参加者数：学生CO 55名/職員 3名
内 容：代替わりを兼ねた1年間を総括する会
 また総会に向けて1年間の活動の総まとめとなる資料「2023年度学生CO活動報告書」も作成
 ・アイスブレイク
 ・報告書の共有（部署・実行委員等振り返り）
 ・年表作成、CO活動神経衰弱
 ・次期体制報告、年間目標決め
目 的：学生CO全体で1年間の成果や課題を確認し、来年度の活動について考える

オンライン・クリーンチャレンジ スポーツゴミ拾い～関学 × 関大 × 龍大～



- 日 程**：2024年2月28日（水） 12：30～16：00
場 所：西宮市総合福祉センター／清掃エリア：津門公園等、センター周辺
参加者数：関西学院大学13名（学生CO 6名、一般 7名）
 関西大学 10名
 龍谷大学32名（深草キャンパス17名、瀬田キャンパス10名）
内 容：スポーツゴミ拾い、オンリーワン自己紹介、大学クイズなど
目 的：大学間交流の中でボランティア精神の広がり促進し、ボランティアを楽しむ文化を醸成すること
共 催：・関西大学ボランティアセンター
 ・龍谷大学ボランティア・NPO活動センター
協 力：西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター

3. 研修

ヒューマン・サービス支援室では、活動の中核にある学生COがコーディネーターとして十分なスキルを発揮するために、研修を行っています。2023年度は5月に基礎研修、9月に応用研修を、2024年2月に合宿型研修を行いました。

基礎研修

日 程：2023年5月27日（土） 13：00～17：00

場 所：西宮上ヶ原キャンパス社会学部棟 202教室

参加者数：48名（うち、新メンバー 21名）

内 容：①動画研修（講義形式の動画2本を配信）

- ・ ボランティアとは？ボランティアコーディネーターとは？
ボランティアの要素、語源、する理由、魅力
コーディネートの意味、対等につなぐための関心、コーディネーターの8つの役割
- ・ ヒューマン・サービス支援室と学生コーディネーターの歴史と役割
大学ボラセンの存在意義、ヒューマンサービスセンター（HSC）の成り立ちと活動
ヒューマン・サービス支援室の成り立ちと活動・役割、組織体制
学生COの役割、意識すべきポイント（一体感、自主性、協働）

②対面研修

- ・ アイスブレイク
- ・ ボランティアのイメージとは
- ・ コーディネーションについて
- ・ ボランティア見学ツアーについて
- ・ 専従コーディネーターって何する人？

目 的：新たに入会した学生COを対象とした新人研修。上回生とともにボランティアコーディネーターの重要性と基本的な知識及び支援室との関係など基本的な事柄を理解する。また、他者との協働のために必要なこと、自分ができることが何かを主体的に考え、多様性を理解し相手を尊重したうえで対話ができるようになる



応用研修



日 程：2023年9月7日（木） 13：00～17：00
場 所：西宮上ヶ原キャンパス社会学部棟 202教室
参 加 者：31名
内 容：アイスブレイク

「あなたにとってボランティアとは？」
 今後の活動について考えよう！

目 的：秋学期に向けて、ひとりひとりが学生COの一員として自分らしさを発揮しながら活動に参画できるようにする

合宿型研修



日 程：2024年2月15日（木）～16日（金）
場 所：関西学院 千刈キャンプ
参 加 者：22名 ※1日だけの参加者も含む
内 容：レクリエーション

ミッション・ビジョン・バリューについてのワークショップ

能登半島地震の現地支援について

「専従コーディネーターを倒せ！」ワークショップ
 その他、交流会や振り返りなど

目 的：①コーディネーションで大事なポイントを知る
 ②4月からの活動に備えて準備をする
 ③楽しんで積極的に活動できるように自分事として捉える

4. 来年度に向けて

2024年度学生コーディネーター 西宮上ヶ原・西宮聖和代表
社会学部2年 佐藤 日和



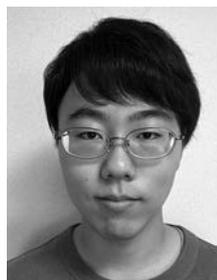
2023年度に引き続き、2024年度学生コーディネーターの代表を務めさせていただきます、社会学部2年の佐藤日和です。

2024年度の年間目標は、『CORE～Collaboration Relation Enjoy～』と設定しました。引き続き学生CO内外での協働を行っていくとともに、①地域や他大学など外部団体とのつながりをつくり、②学生CO自身が日々の活動を楽しみ、③関学大生にも活動を広げていく、という3つの目標を軸としました。学生CO一人ひとりがこの目標を意識して活動できるよう、振り返る機会をつくるなど、達成に向けて活動していきます。

2023年度にはメンバー同士の交流を深め、対面でのイベントを充実化し、より良いものを目指して活動してきました。このような経験を踏まえ、2024年度は新しい企画を提案したり、より規模を大きくしたイベントを実行したりと、いろいろなことに挑戦していきたいと思います。所属人数の多さも強みとしながら、それぞれの個性を引き出し、発揮できる活動にしていきたいと考えています。

関学大生の新しい一歩を踏み出すサポートができる存在となれるよう、学生CO一同、お互いに高め合い、支え合いながら活動に努めてまいります。

2024年度学生コーディネーター 神戸三田共同代表
理学部2年 小鹿 陽生
総合政策学部1年 潮見 凜



2024年度学生コーディネーター神戸三田キャンパス共同代表部を務めさせていただきます、理学部2年の小鹿陽生と、総合政策学部1年の潮見凜です。

神戸三田キャンパスでは、年間目標「CORE」を意識し、KG-VNET加入団体や、三田地域のボランティア団体との結び付きを強めるために積極的に活動したいと思います。また学生COがボランティア活動に参加することはもちろん、地域で活動されている方を大学に招待する企画を行ったり、KG-VNET交流会の回数を増やしたりするなど、新しい取り組みも行っていきます。学生COを含め複数の学生団体が協力して1つの地域イベントを運営する機会などにもつなげていきたいと考えています。

私たちはこのつながりを、より広範囲に行き渡らせたいと考えています。ボランティアをきっかけにした緩やかなつながりが大学全体に広がれば、「関西学院大学のボランティアの活性化」に一歩近づくことができると考えています。この目的を達成するために、日々の活動に尽力してまいります。

記錄事項

ボランティア活動支援センター規程

第1条 関西学院大学に関西学院大学ボランティア活動支援センター（以下「支援センター」という）を置く。

（目的）

第2条 支援センターは、ボランティア活動の支援に関する基本方針を策定する。

（業務）

第3条 支援センターは、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 1 本学のボランティア活動に関する施策の企画・立案
- 2 本学のボランティア活動に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
- 3 その他、前条の目的を達成するための業務
- 2 前項の事業を推進するために、支援センターにヒューマン・サービス支援室を置く。

（構成）

第4条 支援センターに次の構成員を置く。

- 1 センター長
- 2 センター副長
- 3 センター委員 3名（西宮上ヶ原、西宮聖和、神戸三田各キャンパスから1名）

（センター長）

第5条 センター長は支援センターを代表し、第3条に規定する事項について統括する。

- 2 センター長は副学長の中から、学長が任命する。
- 3 センター長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター副長）

第6条 センター副長はセンター長を補佐する。センター長に事故あるとき、又はセンター長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 センター副長は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。
- 3 センター副長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター副長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター委員）

第7条 センター委員はセンター長及びセンター副長を補佐する。

2 センター委員は本学専任教員の中からセンター長が推薦し、学長が任命する。

3 センター委員の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、センター委員が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（センター会議）

第8条 ボランティア活動の支援に関する基本方針を定め、それに基づいて、ボランティア活動を評価し管理するため、センター会議を置く。

2 センター会議は次の委員をもって構成する。

- 1 センター長
- 2 センター副長
- 3 センター委員
- 4 大学宗教主事
- 5 学長補佐 1名
- 6 学生活動支援機構長補佐 1名
- 7 大学事務統轄
- 8 大学課長
- 9 学長が必要と認めた者 若干名

3 センター会議は、副学長が招集し、議長となる。

4 センター会議が必要と認めたときは、センター会議の議を経てセンター会議委員以外の者を出席させることができる。

第9条 センター会議は、次の事項を協議する。

- 1 本学のボランティア活動に関する施策の企画・立案
- 2 本学のボランティア活動に関する全学的方針の立案及びその方策の推進
- 3 支援センター予算・決算に関する事項
- 4 支援センター諸規程に関する事項
- 5 ヒューマン・サービス支援室の人事に関する事項

（規程の改廃）

第10条 この規程の改廃は、センター会議の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

1 この規程は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。

関西学院大学ボランティア活動支援センター規程平成28年2月19日 理事会承認

ヒューマン・サービス支援室規程

第1条 この規程は、関西学院大学ボランティア活動支援センター（以下「支援センター」という）規程第3条第2項に基づき、ヒューマン・サービス支援室（以下「支援室」という）について定める。

（目的）

第2条 支援室は、ボランティア活動の支援に関する基本方針に基づき、学生等によるボランティア活動を支援し促進することを目的とする。

（業務）

第3条 支援室は、前条の目的を達成するため、次の業務を行う。

- 1 ボランティア活動への支援・助言
- 2 ボランティア活動に関する情報収集と提供
- 3 ボランティア活動への啓発
- 4 ボランティア活動に関する評価及びそれに伴う公表
- 5 ボランティア活動協議会の開催
- 6 その他、前条の目的を達成するための業務

（構成）

第4条 支援室に次の構成員を置く。

- 1 室長
- 2 副室長 3名
- 3 ボランティアコーディネータ
- 2 室長は、支援センター副長が兼ねる
- 3 副室長は、支援センター委員が兼ねる

（室長）

第5条 室長は支援室を代表し、第3条に規定する事項について統括する。

- 2 室長は本学専任教員の中から支援センター長が推薦し、学長が任命する。
- 3 室長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、室長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（副室長）

第6条 副室長は室長を補佐する。室長に事故あるとき、又は室長が欠けたときは、その職務を代行する。

- 2 副室長はボランティアに関する知識を有する本学専任教員とし、支援室長が推薦し、学長が任命する。
- 3 副室長の任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、副室長が任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

（ボランティアコーディネータ）

第7条 ボランティアの全学的な推進と調整を行うため、支援室にボランティアコーディネータを置く。

- 2 ボランティアコーディネータは室長が推薦した者を、支援センター長が任命・委嘱する。
- 3 ボランティアコーディネータの任期は1年とする。ただし、再任を妨げない。なお、ボランティアコーディネータが任期の途中で退任したとき、新任者の任期は前任者の任期の残存期間とする。

4 ボランティアコーディネータは学生コーディネータを助言指導する。

（学生コーディネータ）

第8条 ボランティア活動支援センター長はヒューマン・サービス支援室の業務の遂行にあたって、参加・協力する学生に対し学生コーディネータを委嘱することができる。

- 2 学生コーディネータはヒューマン・サービス支援室と協働し、ボランティア紹介とボランティア啓発活動を実施する。

（支援室運営委員会）

第9条 支援室の円滑な運営を図るため、支援室運営委員会（以下「運営委員会」という）を置く。

- 2 運営委員会は次の委員をもって講成する。

- 1 室長
- 2 副室長
- 3 学長補佐 1名
- 4 学生活動支援機構長補佐 1名
- 5 大学課長

3 運営委員会は、室長が招集し、議長となる。

4 運営委員会が必要と認めたときは、運営委員会の議を経て運営委員以外の者を出席させることができる。

第10条 運営委員会は、次の事項を企画・立案し、支援センター会議に提案する。

- 1 ボランティア活動への支援・助言
- 2 ボランティア活動に関する情報収集と提供
- 3 ボランティア活動への啓発
- 4 ボランティア活動に関する評価及びそれに伴う公表
- 5 ボランティア活動協議会の開催
- 6 その他、前条の目的を達成するための業務

（協議会）

第11条 室長は、関西学院大学で活動するボランティア団体の交流・協働を促進するため、室長、副室長による協議会を置き、開催する。

（規程の改廃）

第12条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て大学評議会で決定する。

附 則

- 1 この規程は、2016年（平成28年）4月1日から施行する。
- 2 この規程は、2018年（平成30年）4月1日から施行する。
- 3 この規程は、2019年（平成31年）4月1日から改正施行する。

了解事項

ボランティアコーディネータは期限付契約職員とする。

ボランティア活動支援センター名簿

ボランティア活動支援センター長 今津屋 直子 (教育学部教授・副学長)	ボランティアコーディネーター 岡 秀和
ボランティア活動支援センター副長 関 嘉寛 (社会学部教授)	小林 真綾 沖本 祐基
ボランティア活動支援センター委員 川島 恵美 (人間福祉学部教授) 岩坂 二規 (教育学部准教授) 照本 清峰 (建築学部教授)	

ヒューマン・サービス支援室名簿

ヒューマン・サービス支援室長 関 嘉寛 (社会学部教授)	ボランティアコーディネーター 岡 秀和
ヒューマン・サービス支援室副室長 川島 恵美 (人間福祉学部教授) 岩坂 二規 (教育学部准教授) 照本 清峰 (建築学部教授)	小林 真綾 沖本 祐基

2023年度 学生コーディネーター代表部名簿

〈西宮上ヶ原キャンパス〉	〈神戸三田キャンパス〉
代 表：花谷 実咲 (社会学部 3年) 佐藤 日和 (社会学部 2年)	共同代表：菊池 美輝 (総合政策学部 3年) 丸谷 友香 (総合政策学部 3年)
副代表：中野 涼香 (社会学部 2年) 宮本 堇 (商学部 2年)	小鹿 陽生 (理学部 2年)

2023 年度
関西学院大学ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室 活動報告書
2025 年 3 月 発行

関西学院大学ボランティア活動支援センター
ヒューマン・サービス支援室
〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町 1-155
TEL: 0798-54-6061 FAX: 0798-54-6161
E-mail: kg.hssso.info@kwansei.ac.jp
URL: https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/